

政務活動費収支報告書

平成 31 年 3 月 31 日

富士宮市議会議長 手島 皓二 様

会派名称 公明会

代表者氏名 諸星 孝子



平成 30 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入

政務活動費 900,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	65,210	書籍購入
会議費	87,440	研修旅費、参加費
事務費	19,534	消耗品代
調査旅費	309,180	視察旅費
その他経費	11,664	お土産代
合計	493,028	

3 残額 406,972 円



平成 30 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項目	内容	収入金額	支払金額	残高
4	25	交付金	政務活動費	900,000		900,000
4	3	会議費	講習会旅費		27,800	872,200
4	6	会議費	講習会参加費		30,000	842,200
5	2	資料購入費	図書購入費		58,968	783,232
6	5	資料購入費	図書購入費		842	782,390
6	5	資料購入費	図書購入費		5,400	776,990
7	2	調査旅費	視察旅費		309,180	467,810
6	26	会議費	講習会旅費		14,820	452,990
7	9	その他経費	お土産代		11,664	441,326
9	1	事務費	文具代		4,025	437,301
11	30	事務費	文具代		5,184	432,117
12	7	事務費	文具代		1,050	431,067
2	18	事務費	文具代		3,456	427,611
2	18	事務費	文具代		5,819	421,792
3	6	会議費	講習会旅費		14,820	406,972
						406,972
						406,972
			合計	900,000	493,028	406,972

収入金額 900,000 円

支出金額 493,028 円

差引残額 406,972 円

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第1号の2

平成30年4月1日

公明会

代表者 諸星 孝子 様

富士宮市長 須藤 秀 忠



平成30年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、
下記のとおり決定したので通知します。




記

平成30年度交付決定額 900,000円

収 入 伝 票

	代表者印	●	経 理 責任者印	●
項 目	交付金			
金 額	900,000円			
内 容	政務活動費 3人分 諸星孝子、佐野寿夫、齋藤和文			
収 入 先	富士宮市長			
収入年月日	平成30年4月25日			
摘 要				
— 領収書(明細)貼付欄 —			出納簿記入済 印	●

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	27,800円				
内 容	地方議員研究会「人口減少社会の自治体の今後の課題と切り込み方」「県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント」講習会へ参加するための旅費				
目 的	人口減少社会と質問のポイントをテーマとした勉強会に参加し、これからの人口減少社会について研究するため				
支 出 先	地方議員研究会				
支払年月日	平成30年4月3日				
その他特記事項 (参加者・人数等)					
齋藤和文 1名					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

旅行命令（依頼）書

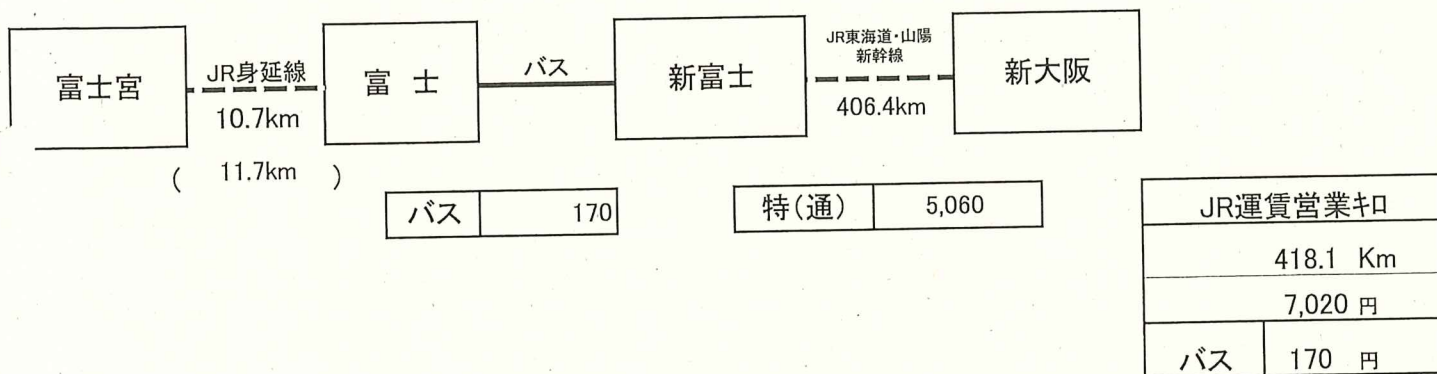
起案	平成30年 4月 3日	決裁	平成30年 4月 3日
承認者	会派代表者印	諸星孝子	予算項目
			政務活動費・会議費
	所属	職（補職）名	氏名
1	公明会	議員	齋藤和文
2			
3			
4			
5			
用務目的	① 人口減少社会の自治体の今後の課題と切り込み方について ② 県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント の講義に参加するため		
用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日
大阪府大阪市		平成30年4月6日	平成30年4月6日
備考			
復 命			
承認者	会派代表者印		
出発年月日	平成30年4月6日	帰省年月日	平成30年4月6日
旅行先	大阪府大阪市		
復命	別紙のとおり		
	鉄道賃	特急料金	急行料金
	J R・私鉄	④・⑤・繁	バス
			航空賃（実費）
	日当	宿泊料	合計
	1日	夜	
1	14,040	10,120	340
2			
3			
4			
5			
			3,300
			27,800

旅費計算書(政務活動費)

参加者: 公明会 齋藤和文 議員

鋭い質問のポイント

- 研修 人口減少社会の自治体の今後の課題と切り込み方
県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント
- 会場 新大阪丸ビル別館(大阪市東淀川区東中島1-18-22丸ビル別館)
- 日程 平成 30 年 4 月 6 日 (金) (往復同行程)



鉄 道 賃	J R	14,040 円	運賃 A	24,500 円 × 1 人 = 24,500 円
	私 鉄	円		
特 急 料 金	通 常	10,120 円	日 当	3,300 円 × 1 日 × 1 人 = 3,300 円
	閑 散	円		
	繁 忙	円		
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円 × 0 夜 × 0 人 = 0 円
		円		
車 賃 (バ ス)		340 円		
1人往復運賃合計 A		24,500 円	旅費合計	27,800 円/人 × 1 人 = 27,800 円

支 出 伝 票

		代表者印	●	経 理 責任者印	●
項 目	会議費				
金 額	30,000円				
内 容	地方議員研究会「人口減少社会の自治体の今後の課題と切り込み方」「県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント」講習会へ参加するための参加費				
目 的	人口減少社会と質問のポイントをテーマとした勉強会に参加し、これからの人口減少社会について研究するため				
支 出 先	地方議員研究会				
支 払 年 月 日	平成30年4月6日				
その他特記事項 (参加者・人数等)					
齋藤和文 1名 15,000 × 2講座 = 30,000円					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	●

領 収 証

富士宮市議会 公明党

様

30年4月6日

★

¥30,000

但 4/6 10:00~「人口減少社会の自治体の今後の課題と切り込み方」

4/6 14:00~「県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント」

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004




大阪市淀川区西宮原2丁目6-

TEL

研修報告書

<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">会派名</td> <td style="padding: 2px 5px;">公明会</td> </tr> </table>		会派名	公明会
会派名	公明会		
研 修 年 月 日	平成30年4月6日		
研 修 先	一般社団法人地方議員研究会		
参 加 者	齋藤和文		
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	研修：県職員、区長での経験をもとにした質問のポイント 概要：講師は元岩手県職員で、退職後公募で大阪市旭区区長を勤めた小川昭彦氏である。まずは行政執行過程のチェック・政策課題への対応・県職員時代に取り組んだ役所のムダ取り、カイゼン・自治体執行部に仕事をさせるために 地方議員はこの視点で切り込めと題して講義があった。自治体はほとんどが計画を策定し、それに準じて執行していく。数年で見直しを図り、同様に策定・執行と繰り返していく。まずはそのチェック、緊急性のある計画に無い場合は、必要性・緊急性を確認しながら、世論はどうなのか、議会としては対応すべきである。県職員時代、役所のムダを如何にして省くか、カイゼンしていったかについては、非常に効果が高いと感じた。職員が何気なくいつもの通り役所内で行っていることが、是か非かを自ら問う必要がある。しかしながら自ら問う職員はほとんどいないだろう。中途採用ならともかく、学生からそのまま社会人になった職員は今が普通と思い、自らを振り返ることはない。ここで議員が如何にして職員に対し問うのか、姿勢を正していけるのか、が必要と思った。議員の多くは民間会社での経験を持つ方も多い。民間会社でよく言われるのが、カイゼン（改善）である。今まで当たり前に行ってきたことでも、より安く、より簡単にできる方法はないかと追及を決して忘れない。利益ひとつ考えても、民間は1円でも追及していく。常に追求を忘れず、努力していく。役所はどうか、利益追求の考えはほとんどない。過去からのやり方が正しいとの思い込みが、新しい発想や行動を妨げているのではないかと議員になってからよく感じるところである。私はよく役所に対して、提案を頻繁にさせてもらう。もっと外部での研修を増やしたほうが良いとか、行政サービス・意識向上のために常に自らに問いかけ、個人としての結果を出すようにとか。民間での研修は増やしたほうが良いと思うし、本当にためになる。お役所仕事が良い意味で使用されない今、市民の目線に立った職員を如何に増やしていくかが問われているし、その方向性へ持っていく議員も必要だと強く感じた。		

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	資料購入費				
金 額	58,968円				
内 容	図書購入代				
目 的	調査研究に必要なため				
支 出 先	イマジン出版株式会社				
支払年月日	平成30年5月2日				
その他特記事項 (参加者・人数等)					
自治体情報誌 「ディーファイル」年払い (26冊分)					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

納品書

No. XXXXXXXXXX

頁 1

富士宮市議会 公明会 様

出版 会社
表取 幸三
都文 5-8

下記の通り納品致します。

¥58,968

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2018年4月発行号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2018年5月発行号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2018年6月発行号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2018年7月発行号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2018年8月発行号 上・下	2	2,430	4,860
6	D-file 2018年9月発行号 合本	1	3,024	3,024
7	D-file 2018年10月発行号 上・下	2	2,430	4,860
8	D-file 2018年11月発行号 上・下	2	2,430	4,860
9	D-file 2018年12月発行号 上・下	2	2,430	4,860
10	D-file 2019年1月発行号 上・下	2	2,430	4,860
11	D-file 2019年2月発行号 合本	1	3,024	3,024
12	D-file 2019年3月発行号 上・下	2	2,430	4,860
13	Beacon Vol.73(春号),Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号)	4	1,080	4,320
14				
15				
摘要	合 計	26		58,968

請求書

No. XXXXXXXXXX

頁 1

富士宮市議会 公明会 様




出版 会社
表取 幸三
都文 5-8

下記の通り御請求申し上げます。

¥58,968

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2018年4月発行号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2018年5月発行号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2018年6月発行号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2018年7月発行号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2018年8月発行号 上・下	2	2,430	4,860
6	D-file 2018年9月発行号 合本	1	3,024	3,024
7	D-file 2018年10月発行号 上・下	2	2,430	4,860
8	D-file 2018年11月発行号 上・下	2	2,430	4,860
9	D-file 2018年12月発行号 上・下	2	2,430	4,860
10	D-file 2019年1月発行号 上・下	2	2,430	4,860
11	D-file 2019年2月発行号 合本	1	3,024	3,024
12	D-file 2019年3月発行号 上・下	2	2,430	4,860
13	Beacon Vol.73(春号),Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号)	4	1,080	4,320
14				
15				
摘要	合 計	26		58,968

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	資料購入費				
金 額	8 4 2 円				
内 容	図書購入代				
目 的	調査研究に必要なため				
支 出 先	(有)小長谷書店				
支払年月日	平成30年6月5日				
その他特記事項 (参加者・人数等) コミュニティ発電所 842円 (税込)					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	資料購入費	内容	図書購入代
----	-------	----	-------

領収書等貼付欄

請求書
30年6月5日
No. _____

静岡県富士宮市中央町9番1号
小長谷書店 代表取締役 小長谷 章
有限会社 様
下記のとおり御請求申し上げます

月日	品名	数量	単価	消費税額等		摘要
				金額 (税抜・税込)	%	
1	コミュニケーション機器	1		842		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
税込合計金額			¥842,-			
合計						842

コクヨ U-330

領 収 書

No. _____

30年 6月 5日

印
紙

公明会 様



月	日	請求額	円	御入金額	円
				¥842	

上記の通り正に領収致しました。

〈摘要〉

(有) 小長谷書店
 富士宮市中央町9-1
 TEL(0544)26-2706 FAX(0544)24-2451
 ※ご注意 扱者印なきものは無効です。

支 出 伝 票

代表者印 		経 理 責任者印 	
項 目	資 料 購 入 費		
金 額	5, 4 0 0 円		
内 容	図書購入代		
目 的	調査研究に必要なため		
支 出 先	(有)小長谷書店		
支払年月日	平成30年 6月 5日		
その他特記事項 (参加者・人数等) 地方議会運営事典 ー第2次改訂版ー			
— 領収書等貼付欄 —		出納簿記入済 印	

領 収 書

No. _____

30年 6月 5日

公明会
富士宮市議会事務局様

印
紙

月 日請求額				御 入 金 額			
			円				円
						¥5400	

上記の通り正に領収致しました。

<摘要>

(有)小長谷書店 

富士宮市中央町9-1
TEL(0544)26-2706 FAX(0544)24-2451
※ご注意 扱者印なきものは無効です。

別紙

領収書等貼付用紙

項目	資料購入費	内容	地方議会運営事典
----	-------	----	----------

領収書等貼付欄

請求書 30年6月5日 No. _____

公明会
 富士宮市議会議務局様
 静岡県富士宮市中央町9番1号
 有限会社 小長谷書店
 代表取締役 小長谷 章
 下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額 ￥5,400.- 税率 % 消費税額等

月日	品名	数量	単価	金額 (税抜・税込)	摘要
1	地方議会運営事典	1冊		5400	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計				5400	

支 出 伝 票

代表者印		経 理 責任者印	
------	--	-------------	---

項 目	調査旅費
金 額	309,180円
内 容	帯広市・恵庭市・北広島市・函館市行政視察のための旅費
目 的	再生可能エネルギーやごみの再資源化・リユース、そして観光の広域連携などの先進事例を学ぶため
支 出 先	諸星孝子他2人
支払年月日	平成30年7月2日
その他特記事項（参加者・人数等） 諸星孝子・佐野寿夫・齋藤和文の3人	

— 領収書等貼付欄 —

出納簿記入済 印



別紙のとおり

旅行命令（依頼）書

起案	平成30年 7月 2日	決裁	平成30年 7月 2日						
承認者	会派代表者印 諸星孝子	予算項目	政務活動費・調査旅費						
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考				
1	公明会	議員	諸星孝子						
2	公明会	議員	佐野寿夫						
3	公明会	議員	齋藤和文						
4									
5									
用務目的	① バイオマス発電とフードパーク構想について ② 生ごみのバイオガス発電について ③ 粗大ごみのリユースについて ④ 観光行政(広域連携)について								
用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日						
帯広市・恵庭市・北広島市・函館市	帯広市・札幌市	平成30年7月11日	平成30年7月13日						
備考									
復 命									
承認者	会派代表者印 諸星孝子								
出発年月日	平成30年7月11日	帰省年月日	平成30年7月13日						
旅行先	帯広市役所・恵庭下水終末処理場・北広島市役所・函館市役所								
復命	別紙のとおり								
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料		合計
	J R・私鉄	①・閑・繁				3日	2夜		
1	20,920	22,710		1,340	15,190	9,900	33,000		103,060
2	20,920	22,710		1,340	15,190	9,900	33,000		103,060
3	20,920	22,710		1,340	15,190	9,900	33,000		103,060
4									
5									

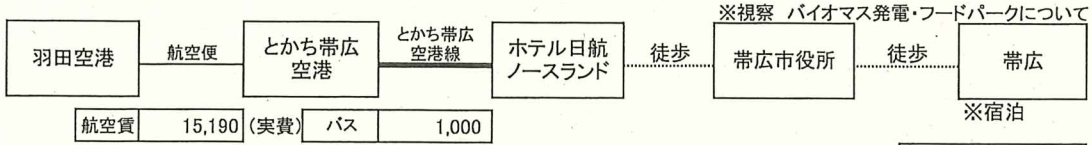
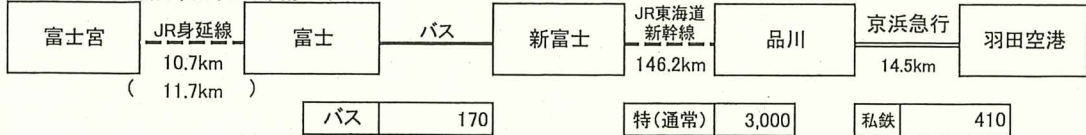
旅費計算書(政務活動費)

公明会

(諸星孝子議員・佐野寿夫議員・齋藤和文議員)

● 1日目：平成30年7月11日 (水) (通常期)

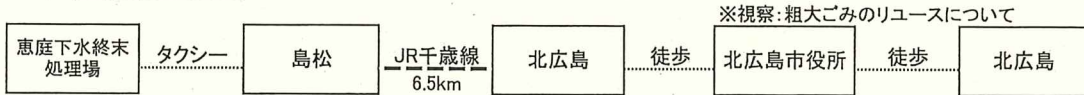
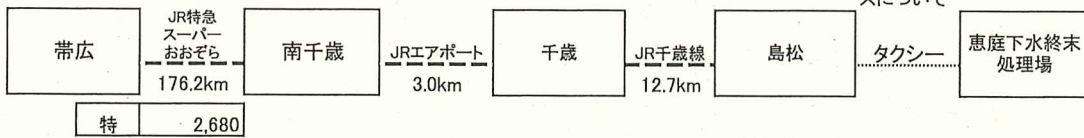
【視察】帯広市役所(帯広市西5条南7-1)



JR運賃営業キロ	
157.9 Km	
2,590 円	
バス	1,170円
私鉄	410円

● 2日目：平成30年7月12日 (木) (通常期)

【視察】恵庭下水終末処理場(恵庭市中島松453)、北広島市役所(北広島市中央4-2-1)



※宿泊: 札幌市内

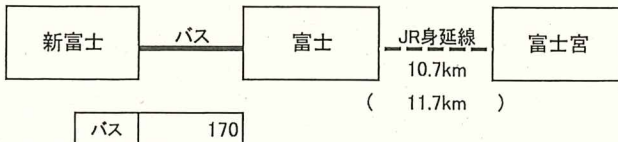
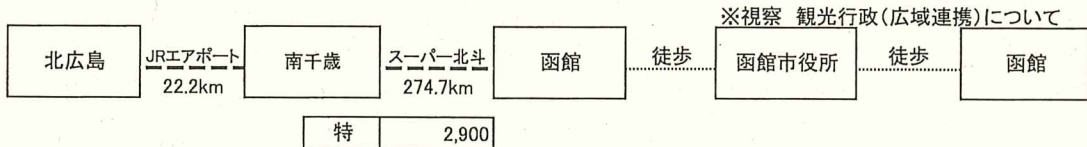
JR運賃営業キロ		JR運賃営業キロ	
1453.4 Km		22.2 Km	
16,300 円		450 円	
バス	170円	バス	

帯広-富士宮

南千歳-北広島

● 3日目：平成30年7月13日 (金) (通常期)

【視察】函館市役所(函館市東雲町4-13)



JR運賃営業キロ		JR運賃営業キロ	
22.2 Km		17.9 Km	
450 円		720 円	
バス		バス	
私鉄		私鉄	


北広島-南千歳

新函館北斗-函館(往復)

鉄道賃	J R	20,510 円	運賃 A	60,160 円	× 1 人 =	60,160 円
	私鉄	410 円	日当	3,300 円 × 3 日 × 1 人 =	9,900 円	
特急料金	通常	22,710 円				
	閑散	円				
	繁忙	円	宿泊料	16,500 円 × 2 夜 × 1 人 =	33,000 円	
航空運賃	料金(往路)	15,190 円				
	料金(復路)	円				
船賃		円				
車賃(バス)		1,340 円				
1人往復運賃合計 A		60,160 円	旅費合計	103,060 円/人 × 3 人 =	309,180 円	

※H30.5.22人事課確認済

視 察 報 告 書

		会 派 名	公 明 会
視 察 年 月 日	自 平成 30 年 7 月 11 日 (水) 至 平成 30 年 7 月 11 日 (水)		
視 察 先	北海道帯広市「フードバレーとがち」「十勝のバイオマス発電」について		
参 加 者	諸星 孝子 佐野 寿夫 齋藤 和文		
視 察 内 容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>平成 30 年 7 月 11 日 (水) 北海道帯広市、市役所にて「フードバレーとがち」「バイオマス発電」について視察をしてきました。 所管課は産業連携室で、初めに植松秀訓室長よりご挨拶を頂き、柴田明宏主任補佐より説明と質疑の対応をして頂きました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>「フードバレーとがち」について 富士宮市と帯広市は平成 22 年にフードバレー推進連携をスタートさせています。平成 23 年には帯広市は 1 市 16 町 2 村で構成する「十勝」でフードバレーとがちをスタートさせました。 もともと十勝地域は、国内有数の農業地帯で面積 1 万 831km 人口 34 万 3 千人と広大な面積からなり豊かな生産力、安全安心力、研究開発力に力を入れています。 食料自給率は、人口約 35 万人に対して 1, 266%、農業施設&食品製造業が HACCP に対応済み、帯広畜産大学や国の機関と連携しています。 十勝を代表する農作物は小麦、てん菜、馬鈴しょ、小豆、全道の約 70% の生産量を占めています。 産*学*官*金 41 団体から構成するフードバレーとがち推進協議会を設置し事務局を帯広市が務めてリードしています。金融機関が加盟するのがポイントです。 フードバレーとがち応援企業として 408 の企業登録があり産業成果が強いのが特徴です。</p>		

富士宮市は地域成果が強いのが特徴だと思います。
大手食品メーカー、フジッコや明治等と連携して牛乳製品、大豆製品、
麦製品を国内だけでなく東アジアへシェア拡大を図っています。
地域の枠を超えたフードバレー交流として富士宮市をはじめとした各
地域と交流展開をはかっています。

2019年春には、NHK朝ドラ「夏空」が十勝を舞台に静岡県清水区
出身の広瀬すずさん主演で放映が決定しており今後、更にフードバレー
とかちを売り込んで行きたいと意欲満々です。

当市としても今後も交流を図ると共に、地域型のフードバレーを構築し
ていくために活かしていきます。

「十勝におけるバイオマス発電」について

畜産農家一戸あたりの飼養頭数の増加に伴い、畜産農家の規模が拡大
し家畜排せつ物の処理量が増加し十勝におけるバイオガスプラントの
必要が高まりました。

国のバイオマス産業都市構想の認定を受け大小 33 基のバイオガス
プラントを稼働させています。



大きなバイオガスプラントでは、鹿追町の町営で運営している鹿追町環
境保全センターがあります。

同町では、最大の課題の家畜排せつ物の悪臭が市街地に流れていくこ
との課題解決策として集約型バイオガスプラントが一役の働きをして
いるそうです。環境面でのCO2削減、循環型社会、更には鹿追町に人
の流れが戻ってきたそうです。それだけ、バイオガスプラントからの臭
気は少ないそうです。

処理能力は、日/94 tの堆肥を処理でき発電量は、日/100kwで
300kwの発電量が維持できれば採算はとれるそうです。

また、発熱利用はチョウザメ養殖、マンゴー栽培(雪も活用)、サツマ
イモなどの農作物の貯蔵(13度に保つため)などに活用しています。
発電は、FIT制度に基づき売電。消化液は、宣伝サンプルで少量を小分
けして道の駅で販売し大半はタンクローリーにて畑に散布されていま
す。また、メタンガスから水素を産出し併設されている水素ステーショ
ンにてトヨタ自動車みらいの燃料に活用されています。

小規模、個別型プラントでは、畜産農家宅に直接設置しています。設
置費用約8億円(1億円は国庫補助)は、農業協同組合で仮負担設置して
くれ個別の畜産農家は、維持管理と売電、消化液の利活用を行い売電収
入の一部を農業協同組合に納め残りは、実質収入となるそうです。長期
返済計画に基づき返済と共に利益を上げているそうです。

また、消化液の利用も農業協同組合が(消化液利用組合を作り)畑作生産
者と利用調整をしているそうです。

しかし、消化液の利用調整には少し苦慮されているそうです。
また、富士宮市に実証試験的に導入されたバイオガスプラントの設置業者～土谷特殊農機具製作所～は十勝の個別型バイオガスプラントも設置しているそうです。

富士宮市のバイオガスプラントは、発電電力は自家消費し消化液も自家処理していて理想的であると評価して頂きました。しかし、自家処理活用の費用対効果はどうかと思います。

今後、当市の試験導入されたバイオガスプラントを撤去せずに活用していける方向性を探っていきたいと考えます。

また、十勝の農業協同組合で支援する、個別型バイオガスプラントの方式が当市においても実現していける方向性を探って行きたいと思えます。とても参考になった視察でした。

視 察 報 告 書

		会 派 名	公 明 会
視 察 年 月 日	自 平成 30 年 7 月 12 日 (木) 至 平成 30 年 7 月 12 日 (木)		
視 察 先	北海道北広島市「粗大ごみのリユース」について		
参 加 者	諸星 孝子 佐野 寿夫 齋藤 和文		
視 察 内 容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>平成 30 年 7 月 12 日 (木) 北広島市 / 市役所にて「粗大ごみのリユース」について視察してきました。はじめに藤木幹久議会事務局長、佐藤敏男市議議長より北広島市の紹介とご挨拶を頂きました。</p> <p>北広島市は広島県人が開拓した地であることから北広島市の地名が生まれたそうです。また、クラーク博士が帰国の際に立ち寄り学生達に「青年よ大志を懐け」の名言を残した地でもあるそうです。尚、この度、日本ハム移転候補地に決定したそうです。市庁舎は今年完成したばかりで立派な造りであります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>続いて担当部局、市民環境部 阿部泰洋環境課長より挨拶を頂きその後、木村洋一郎主査より事業の取り組みと概要説明をして頂きました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>～粗大ごみのリユースについて～</p> <p>取り組みのスタートは、北広島市では廃棄物の焼却施設が無く全量埋立処理を行っている。そういった状況であり、最終処分場の延命化が大きな課題となっていた。</p>		

廃棄物の減量化・資源化について取り組みを行ってきたが、平成26年8月から、その一環として粗大ごみとして排出されたものの内、簡易な修繕により再使用できるものを修繕し、安価で市民に提供することで資源の有効利用及びごみの削減を促進する事業をスタート。対象品目は木製家具類と自転車です。

月1回の販売を現地での展示（市民センター内）とともに、市ホームページに写真を含めた展示品の情報を掲載し、抽選後に当選番号を掲示するとともに当選者へ連絡を行なっています。

リユースする家具等については粗大ごみ収集または、ごみ処理場への直接搬入の際に、粗大ごみリユース事業について説明し、了解を得たものの中から簡易な修繕により提供できるものを選別し活用されています。

平成26年8月スタート当初、展示品数116、申込者数515人でしたが、平成29年には、展示品数212、申込者数1,097人と倍以上に増加しており年間を通じて約1,000人以上の市民の方々が申し込みを行っています。

毎月1回展示販売を行っていますが、年に1回開催する自転車については非常に人気が高いようで20~30台の展示品に対して約500件の申し込みがあるそうです。

家具や自転車の提供価格も500円から5,000円までの範囲内で販売されており、売れ残りは金額を下げて即売品として売り切るそうです。

また、修繕管理はシルバー人材センターに委託しており依頼費は約540万円だそうです。

専門の技術者ではないですけど、シルバー人材センターの方々がとても綺麗に仕上げてしまいます。

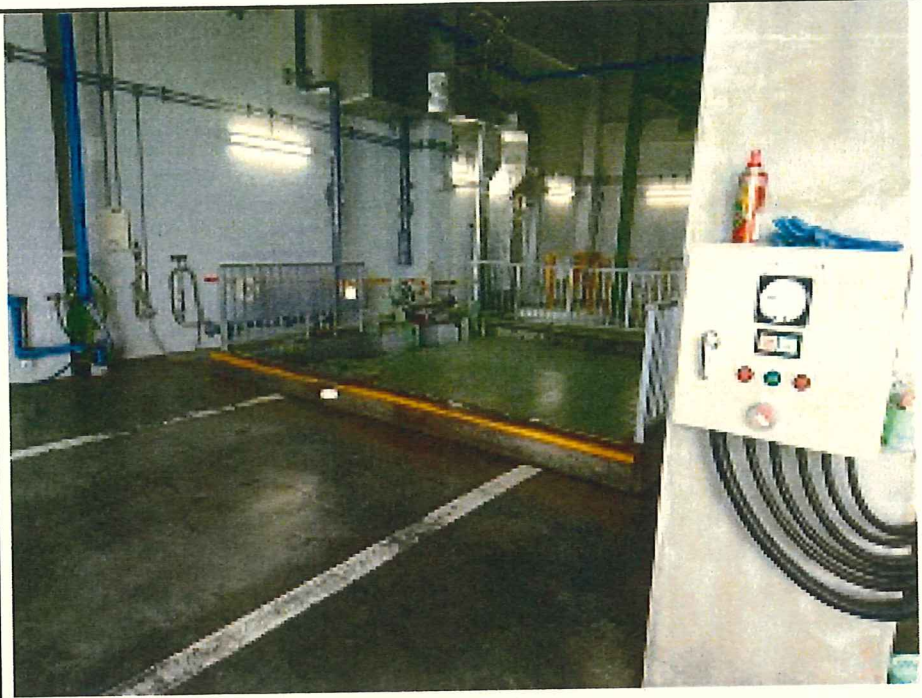
市民の方々の意識も年々高まっており非常に興味深い事業でありました。当市においても何かの機会に提案していきたいです。






視察報告書

会 派 名	公明会
-------	-----

視察 年 月 日	平成30年7月12日
視 察 先	北海道恵庭市「恵庭終末処理場」
参 加 者	諸星孝子・佐野寿夫・齋藤和文
視察内容 (概要、特色、 効果、課題 等)	<p>施設名：恵庭終末処理場</p> <p>恵庭市の循環型社会形成推進施策実現のために、ゴミの処理は平成19年「恵庭市ごみへらし市民会議」からの提案により大きく行政が動き出すこととなった。20年には、恵庭市循環型社会形成推進施策(生ごみのバイオマス化)へと、22年には、ごみの有料化を開始したことや生ごみ処理施設整備、そして24年には、生ごみの分別開始、生ごみ施設供用開始(バイオマス化)と大きく動き出した。生ごみのバイオマス化の目的は、バイオガス化によるエネルギー利用、埋立処分場の延命化、既存施設の有効利用と大きく3つに分かれる。</p> <p>元々既存施設下水終末処理場でバイオマス発電は行っており、新規の施策でなくプラスアルファの部分がメリットとしてある。生ごみのバイオマス化はこの施設を有効利用する目的もあり、生ごみを前処理することにより、下水汚泥と生ごみをガス化させることが可能となる。恵庭市は農業の地域でもあることから、バイオマス化と堆肥化の2つから検討を行い、地域では堆肥生産量が作付面積を上回っていることも調査結果として確認済。様々な角度から検討、市民との説明会も十分に行われている。生ごみの回収方法にも工夫を凝らしている。まずは各家庭の入り口にごみ回収日にごみを置くことにしている。他市ではごみの集積場所を自治会の班ごとに設けているが、恵庭市は各家庭回収なのでその必要は一切なく、一般ごみ回収事業者が歩き若しくは走って回るのだと担当者は言っていた。地域特性の一つに市内地形の大部分が平坦であるというものがある。富士宮市とは比較にならないくらい市街地・住宅地の高低差はない。このことからごみ回収事業者は比較的安易に回収できていると聞いた。さらに新しい街なので住宅地域の集約化を安易に行うことができた。明治6年頃から入植者が多く入り始め、昭和26年には町政移行し、同45年には市制に移行する。平成30年度末には人口7万人弱を達成し、増加傾向にある。札幌市や新千歳空港にも30分以内で移動圏内であり、地方都市には近年考えられないほど、移住者や通勤者が増加している。この地域の地域の優位性や人口増加傾向などを考慮し、循環型施策実現に向け、地域で、行政で、企業としても、ベターな選択をしたと思う。ごみをただ焼却するだけではなく、産業廃棄物や法律の壁を考慮して、住む町がどうしたら継続的に現施設の有効利用活用ができるか、考え抜いた先の結論が汚水・し尿浄化槽汚泥・生ごみを混合したバイオマス発電だと考える。</p>



支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	14,820円				
内 容	地方創生バイオマスサミット実行委員会 「地方創生とバイオマス循環型社会への新たな取り組み」の 講習会へ参加するための旅費				
目 的	地方創生と森林・林業・バイオマスエネルギーの今 後の方向付けについて、学ぶため				
支 出 先	齋藤和文				
支払年月日	平成30年6月26日				
その他特記事項（参加者・人数等）					
齋藤和文					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

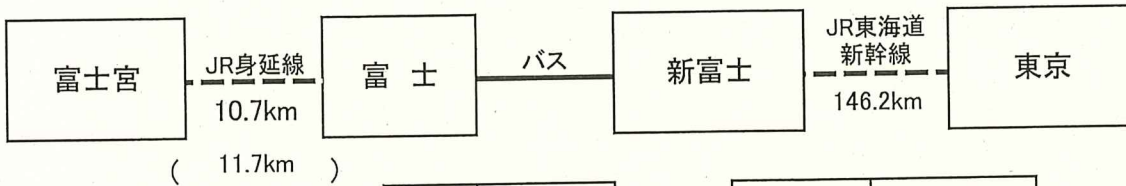
旅行命令（依頼）書

起案	平成30年 6月 26日			決裁	平成30年 6月 26日			
承認者	会派代表者印	諸星孝子	予算項目	政務活動費・会議費				
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考			
1	公明会	議員	齋藤和文					
2								
3								
4								
5								
用務・目的	地方創生と森林・林業・バイオマスエネルギーの今後の方向性のサミットに参加するため							
用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日					
東京都千代田区		平成30年7月5日	平成30年7月5日					
備考								
復 命								
承認者	会派代表者印							
出発年月日	平成30年7月5日	帰省年月日	平成30年7月5日					
旅行先	東京都千代田区							
復命	別紙のとおり							
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料	合計
	J R・私鉄	①・②・繁				1日	夜	
1	5,180	6,000		340		3,300		14,820
2								
3								
4								
5								

旅費計算書(政務活動費)

参加者: 公明会 齋藤和文 議員

- 研修 地方創生バイオマスサミット
- 会場 イイノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区内幸町2-1-1飯野ビルディング)
- 日程 平成 30 年 7 月 5 日 (木) (往復同行程)



バス	170
----	-----

特(通)	3,000
------	-------

JR運賃営業キロ	
157.9 Km	
2,590 円	
バス	170 円

鉄 道 賃	J R	5,180 円	運賃 A	11,520 円 × 1 人 = 11,520 円
	私 鉄	円		日 当
特 急 料 金	通 常	6,000 円		
	閑 散	円		
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円 × 0 夜 × 0 人 = 0 円
		円		
車 賃 (バ ス)		340 円		
1人往復運賃合計 A		11,520 円	旅費合計	14,820 円/人 × 1 人 = 14,820 円




※旅費計算表に基づく

研修報告書

会派名 公明会

研修 年 月 日	平成 30 年 7 月 5 日
研 修 名	地方創生バイオマスサミット実行委員会 「地方創生バイオマスサミット」
参 加 者	齋藤和文
視察・研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	平成 30 年 7 月 5 日東京都千代田区飯野ビルディングにて 2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs) と、 COP21 におけるパリ協定以降、世界的な環境基準に対する動きが あり、日本国内においても脱化石燃料や温室効果ガス削減などの動 きが加速しているのは周知の事実である。その中で、バイオマスエ ネルギーを利用した発電は最も注目を浴びており、国内外の企業が 発電所の設置に動いている。いくつか問題点が挙げられた。一つ目 は、林業の現状である。戦時中大量の木材が必要とされ使用された。 失われた森林を復興させるため、多くの山で植林が行われ、60-70 年が経とうとしている。伐採時期を迎えた 50 年生の山林は、木材 の価格低迷からあまり手を付けることが出来なくなった。多くの山 林地主が手をこまねいている間に、地主が代替わりし、子供・孫へ と相続がされた。相続がしっかりと行われていれば、山林の所有者 が明確に判明するが、多くの山林について所有者が明確ではなく、 所有者自体が自ら山林を所有している事実を知らない。このことか ら所有者不明の民有林が全国に多くあることがわかる。まずは所有 者を明確にする必要があるが、既に法改正や地元森林組合により森 林簿 (山林名簿) の作成が鋭意行われている。国有林・市有林など の公有林の所有・山林図は当然のことながら確認済であり、山林の 整備も自治体の森林計画に法り、計画的に行われている。今後は民 有林の所有者を明確にすること・所有者の許可を得て山林の間伐等 を行うこと・木材価格低迷により山林の間伐を行っても赤字になる ので一切手を付けない山から切り出す木材をどのように売価を上 げていくのかが課題となる。現在杉材の売価は、A材 (製材用) 15,000 円/m ³ 、B材 8,000 円/m ³ 、バイオマス材 7,500 円/m ³ 、製紙 用 C材 4,000 円/m ³ である。元々 C材は製紙用向けのみであったが、 木質バイオマスが参入したことにより、C材のみが徐々に高騰し始 めている。さらに発電所の乱立や C材の不足・集荷範囲の拡大によ り、なお一層不足感が漂う。急激な高騰は業界だけではなく、製紙 業界にも影響を与えることから、早急に民有林の活用を提案した い。関連業界がより良い関係に発展するよう、期待と要望したい。

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	その他経費				
金 額	11,664円				
内 容	視察における土産代				
目 的	帯広市・恵庭市・北広島市・函館市の視察に伴う土産(4か所)				
支 出 先	有限会社 稲葉茶店				
支払年月日	平成30年7月9日				
その他特記事項 (参加者・人数等)					
お茶 2,916円 × 4個 = 11,664円					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

領 収 証

富士宮市議公明会様 30年7月9日

¥ 11,664 *

但 お茶代金

上記正に領収いたしました 〒418-0026

静岡県富士宮市西小泉町5-1

有限会社 稲葉茶園

内 訳

税抜金額

消費税等

代表取締役 稲葉光彦

TEL 0544-27-0473

FAX 0544-27-0908



支 出 伝 票

代表者印		経 理 責任者印	
------	--	-------------	--

項 目	事 務 費
金 額	4,025 円
内 容	文 具 代
目 的	議員活動に資するため
支 出 先	パッケージプラザ富士宮店
支払年月日	平成 30年 9月 1日
その他特記事項 (参加者・人数等) 角2封筒・ハンディS袋・紙袋 (8,050円×1/2=4,025円) * 政務調査費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした。	

— 領収書(明細)貼付欄

出納簿記入済 印



パッケージプラザ
富士宮店

富士宮店
静岡県富士宮市万野原新田4097-1

領収書印

日頃ご愛顧いただきありがとうございます。
本日もご来店ありがとうございます。

公明会様

2018年09月01日(土) 12:07

4901755763126		¥302
内 H7カクミニP 加2 ク771856	2点	
単価	¥151 X	
4901755436327		¥1,762
内 ハンディS袋*42 R	1点	
単価	¥1,762 X	
4901755415971		¥1,762
内 ハンディS袋*42 R	1点	
単価	¥1,762 X	
4901755415827		¥1,678
内 PP/2568 カクミニP	1点	
単価	¥1,678 X	
4547432340015		¥2,546
内 PP/2568 カクミニP	2点	
単価	¥1,273 X	
小計 (内税対象額)	7点	¥8,050
		¥8,050
	(消費税等)	¥96
合 計		¥8,050
お預り		¥10,100
お納り		¥2,050

またのご来店をお待ちしております。

担当者:

[02]



支 出 伝 票

		代表者印	●	経 理 責任者印	●
項 目	事 務 費				
金 額	5, 1 8 4 円				
内 容	文 具 代				
目 的	議員活動に資するため				
支 出 先	株式会社アオイ事務機				
支払年月日	平成 30年 11月 30日				
その他特記事項 (参加者・人数等) PPCペーパー A4 ×4箱 (10, 368円×1/2=5, 184円)					
* 政務調査費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした。					
				出納簿記入済 印	●

領収書 (明細) 貼付欄

領 収 証

毎度ありがとうございます。 No.

30年11月30日

富宮市議会公明会 様

★ ¥10368

内訳/消費税額等(8%) 068

但 PPCN-11° A4x4箱
上記正に領収いたしました。

〒418-0051 静岡県富士宮市淀師1117-6

株式会社 アオイ事務機

TEL

FAX

支 出 伝 票

代表者印

経 理
責任者印

項 目	事 務 費
金 額	1,050 円
内 容	文 具 代
目 的	議員活動に資するため
支 出 先	パッケージプラザ富士宮店
支 払 年 月 日	平成 30年 12月 7日
その他特記事項 (参加者・人数等) PPCペーパー A4 ×4箱 (2,100円×1/2=1,050円) * 政務調査費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした。	

— 領収書 (明

**パッケージプラザ
富士宮店**

出納簿記入済 印

 富士宮店
 静岡県富士宮市万野原新田4097-1

令 頁 又 言 正

 日頃ご愛顧いただきありがとうございます。
 本日もご来店ありがとうございます。

公明会様

2018年12月07日 (金) 17:11

 4901755760828
 内 701 枚1 85G
 単価 ¥1,312× 1点 ¥1,312
 4901755760835
 内 701 枚2 70G
 単価 ¥788× 1点 ¥788

 小計 2点 ¥2,100
 (内税対象額 ¥2,100)
 (消費税等 ¥155)
 合計 ¥2,100
 お預り ¥2,100

またのご来店をお待ちしております。

担当者: [REDACTED] [13]



支 出 伝 票

代表者印	●	経 理 責任者印	●
------	---	-------------	---

項 目	事 務 費
金 額	3, 4 5 6 円
内 容	文 具 代
目 的	議員活動に資するため
支 出 先	株式会社大五堂 深沢文具
支払年月日	平成 31年 2月 18日
その他特記事項 (参加者・人数等) トナー (6, 912円×1/2=3, 456円) * 政務調査費マニュアルII-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした。	

— 領収書(明細)貼付欄

出納簿記入済 印



領 収 証

公明会

様

No. _____

★

¥ 6,912-

但

175円

31年 2月 18日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額	
消費税額等(%)	

富士宮市北町2
株式会社 大五堂 具
代表取締役
TEL: [REDACTED] 061

収 入
印 紙

支 出 伝 票

代表者印

経 理
責任者印

項 目	事 務 費
金 額	5, 8 1 9 円
内 容	文 具 代
目 的	議員活動に資するため
支 出 先	パッケージプラザ富士宮店
支払年月日	平成 3 1 年 2 月 1 8 日
その他特記事項 (参加者・人数等) 角 2 封筒・ハンディ S 袋・紙袋・テープ・付箋・ボールペン・修正ペン (11, 638円×1/2=5, 819円) * 政務調査費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした。	

出納簿記入済 印

領収書 (明細) 印

**パッケージプラザ
富士宮店**

領 収 証

2019年02月18日 (月) 9851号

富士宮市議公明会 様

¥11,638

(消費税等 ¥862 を含みます)

但し、 _____ として

上記正に領収致しました。

【内訳】紙対象金額: ¥10,776]

*現金 ¥11,638

 パッケージプラザ 富士宮店
 静岡県富士宮市万野原新田4097-1

担当者: _____ 0001

別紙

領収書等貼付用紙

項目	事務費	内容	文具代
----	-----	----	-----

領収書等貼付欄

**パッケージプラザ
富士宮店**

富士宮店
静岡県富士宮市万野原新田4097-1
0544-25-6770

領収書印

日頃ご愛顧いただきありがとうございます。
本日もご来店ありがとうございます。

2019年02月18日 (月) 16:35

4901755340068	内 25CB 241 カリコシ材		
	単価 ¥2,349×	1点	¥2,349
4901755351187	内 25CB 241 フレキシブル		
	単価 ¥1,285×	1点	¥1,285
4901755185751	内 770 NEWスチール 50X25		
	単価 ¥142×	1点	¥142
4901860187398	内 フットライト738 101011		
	単価 ¥300×	1点	¥300
4901755431926	内 ノット NO.30 10-107		
	単価 ¥748×	1点	¥748
4901755432046	内 ノット NO.30 ニュース		
	単価 ¥748×	1点	¥748
4901755760835	内 フォトリ 22 70G		
	単価 ¥788×	2点	¥1,576
4901881277810	内 P-JJ31-BK5-DH97107		
	単価 ¥567×	1点	¥567
4902778092149	内 HXKE350005P24 JX10-4		
	単価 ¥432×	1点	¥432
4902778025413	内 SXE3400071P.T シェットS		
	単価 ¥345×	1点	¥345
4902778813591	内 SXN-150-07 BP BK 1P		
	単価 ¥129×	1点	¥129
4902778813584	内 SXN-150-07 BP RD 1P		
	単価 ¥129×	1点	¥129
4901991703313	内 CT-CF5 101011CF 1P		
	単価 ¥190×	2点	¥380
4935183951206	内 NSF-20T.75X50X15 A		
	単価 ¥108×	2点	¥216
4935183951176	内 NSF-17T.75X50X15 A		
	単価 ¥108×	2点	¥216
4935183951053	内 NSF-05T.75X75X50 Y		
	単価 ¥108×	2点	¥216
4935183951015	内 NSF-01T.75X75X75 Y		
	単価 ¥108×	2点	¥216
4901480151830	内 タ-D400-08 トットラ付 加		
	単価 ¥241×	1点	¥241
4901480151908	内 タ-DH400N-08 トットラ付		
	単価 ¥345×	1点	¥345
4901755767414	内 シリコン-A4C1007		
	単価 ¥1,058×	1点	¥1,058




小計	26点	¥11,638
(内税対象額)		¥11,638
	(消費税等)	¥862
合計		¥12,500
お預り		¥12,000
お釣り		¥362

またのご来店をお待ちしております。

担当者: [REDACTED]

[REDACTED]

支 出 伝 票

		代表者印		経 理 責任者印	
項 目	会議費				
金 額	14,820円				
内 容	2019NEW 環境展・2019 地球温暖化防止展へ参加するための旅費				
目 的	展示会へ参加することで、民間技術・方向性を研究するため				
支 出 先	齋藤和文				
支払年月日	平成31年3月6日				
その他特記事項 (参加者・人数等)					
— 領収書等貼付欄 —				出納簿記入済 印	

別紙のとおり

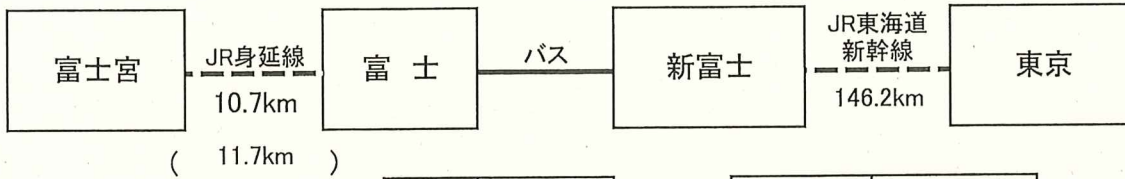
旅行命令（依頼）書

起案	平成31年 3月 12日	決裁	平成31年 3月 12日						
承認者	会派代表者印	諸星孝子	予算項目	政務活動費・会議費					
	所属	職(補職)名	氏名	印	備考				
1	公明会	議員	齋藤和文						
2									
3									
4									
5									
用務・目的	① 「2019NEW環境展」「2019地球温暖化防止展」に参加するため								
	用務地	宿泊地	出発年月日	帰省年月日					
	東京都江東区		平成31年3月12日	平成31年3月12日					
備考									
復 命									
承認者	会派代表者印								
出発年月日	平成31年3月12日	帰省年月日	平成31年3月12日						
旅行先	東京都江東区								
復命	別紙のとおり								
	鉄道賃	特急料金	急行料金	バス	航空賃(実費)	日当	宿泊料		合計
	J R・私鉄	①・閑・繁				1日	夜		
1	5,180	6,000		340		3,300			14,820
2									
3									
4									
5									

旅費計算書(政務活動費)

参加者: 公明会 齋藤和文 議員

- 研修「2019NEW環境展」「2019地球温暖化防止展」
- 会場 東京ビッグサイト第1～5ホール・屋外会場(東京都江東区有明3-11-1)
- 日程 平成 31 年 3 月 12 日 (火) (往復同行程)



バス	170
----	-----

特(通)	3,000
------	-------

JR運賃営業キロ	
157.9 Km	
2,590 円	
バス	170 円

鉄道賃	J R	5,180 円	運賃 A	11,520 円 × 1 人 = 11,520 円
	私鉄	円	日当	3,300 円 × 1 日 × 1 人 = 3,300 円
特急料金	通常	6,000 円		
	閑散	円		
	繁忙	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 0 人 = 0 円
航空運賃	料金	円		
		円		
車賃(バス)		340 円		
1人往復運賃合計 A		11,520 円	旅費合計	14,820 円/人 × 1 人 = 14,820 円

※旅費計算表に基づく

研修報告書

会派名	公明会
-----	-----

研修 年 月 日	平成31年3月12日
研 修 先	「2019NEW 環境展 2019 地球温暖化防止展」
参 加 者	齋藤和文
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>アジア最大級の環境展は毎年開催され、今年は第28回環境展・地球温暖化防止展と同時開催された。企業は物の生産・販売・提供するだけの時代は終わり、今後求められているのは環境とも共生がキーワードとなり、国や自治体を巻き込むことは世界的な潮流である。ゴミの再利用・再資源化は環境汚染対策や地球温暖化対策の助けになる。近年世界的に叫ばれているSDGs(持続可能な開発目標)の構築にも必要なことである。個人的に注目したのは、有限会社英商事の触媒かすみを利用した有機化合物を分解炭化する技術である。富士宮市内において近年問題となっているのは、朝霧高原酪農地帯の牛糞尿問題である。市が調査したところによると牧草地には年間で20,000t以上の糞尿が余剰分として施肥されている。この余剰施肥された糞尿が地下水を汚染している可能性があるとして市も認めている。さらに河川の水質を調査したBOD(水の有機物汚染指標)の数値が高く、危惧している。通常600-800℃の温度で炭化が可能となるが、機械の大型化や複雑化が問題となり設備費用も比例して高額になる。ところが触媒のかすみを使用することで200-300℃の温度で炭化が可能になり、設備の小型化や簡易化がある程度可能となり、設備のコストやランニングコストを抑えることができたとして説明を受けた。市内ではふじ開拓農協が国の補助を受けて、実証実験を行っているが、使用する家畜糞尿は微々たるものである。この機械や技術の導入が望まれる。もう一つは、株式会社エコマスターの日本初のトンネルコンポストという技術である。香川県三豊市には市や広域の一般廃棄物の焼却施設は無い。三豊市は依然焼却施設はあったが老朽化のため、建て替えることになったが、ただ建設するのではなく、技術を全国から入札で選び、技術の入札と建設の入札は別々に行った。その結果、トンネルコンポストなる技術が採用された。この技術は一般廃棄物をトンネルの空間に密閉し、微生物の力で発酵させ水分と臭気を浄化させるものである。驚くほど臭気は少なく近隣にも被害や苦情はないそうだ。生ごみの水分も70-80%から数%まで落とすことができ、使用済おむつは特に微生物の発生が良く分別の必要はない。その後一定の大きさで固められて、別工場にてRPF固形燃料となり、愛媛県の製紙工場に運ばれ、ボイラー燃料となる。三豊市と愛媛県四国中央市の製紙会社の距離や関係性と、富士宮市とお隣富士市との距離感、そして製紙会社が多い関係も含めるとより良い関係性が築けると強く感じた。</p>